

産業能率大学 経営学部

知的財産管理講座(3級知財管理技能士)	履修年次	2	
	単位	2	
竹本 和広	配当期	後	
	授業方法	講義/ライブ	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>予め manaba で出題される予習課題への取り組みにより用語に慣れておき、講義ではテキストを使ったポイント解説および事例紹介を行う。单元ごとに国家資格である「知的財産管理技能検定」で出題される、実践的な課題を題材とした演習を行い、資格試験対策に必要な基礎力の修得および「学習の習慣化」に重点を置く。また、学習内容のビジネスでの応用や、就職活動への適用を、グループワークで検討し、思考の定着を図る。</p> <p>本講座の到達目標としている3級知的財産管理技能士資格は、ビジネスパーソンが身に付けておくべき知識の修得に役立つ資格として注目されている(※知的財産管理技能検定の申込は各自で行うこと)。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国家資格である3級知的財産管理技能士(管理業務)相当の、知的財産に関する基礎的な理解ができている。 ・ 知的財産関連法規、ブランド保護、技術保護、コンテンツ保護、デザイン保護、契約、権利行使に関する重要な用語を理解し、その意味が説明できる。また、上記に関して、業務上の課題を発見できる。 ・ 学習した内容を就職活動および将来の自己の業務に継続的に活用できる。 			
成績評価の方法			
<p>授業出席・授業への貢献度、授業外学習、小テスト、およびレポート課題により総合的に判断する。</p> <p>検定の受検および受検結果は成績評価には考慮しない。</p>			
週	授業項目	週	授業項目
1	授業科目の説明学習ガイド	8	意匠法 保護対象と登録要件手続きと権利活用
2	知的財産の概要 著作権法 著作物	9	知財関連法規 (不正競争防止法、民法、独占禁止法)
3	著作権法 著作者、著作権 著作権の制限 著作隣接権	10	商標法 保護対象と登録要件手続きと権利活用
4	著作権法 著作権侵害 著作物の利用	11	知的財産権 情報の活用
5	特許法 保護対象と登録要件	12	知財に関連する条約 その他の法規 (実用新案法、種苗法、弁理士法)
6	特許法 手続きと特許権実用新案法	13	総合課題演習
7	特許権の活用	14	就活シミュレーション